

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	現代の国語		学習グループ名		高⑨
目標・ねらい	(1) 適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 (2) 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 (3) 表現することで国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
担当教職員 *学校介護職員	巻島 圭子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新編 現代の国語 (大修館書店)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	・「変わる」ことをたのしもう ・コミュニケーションは技術だ	5	「変化」や「変わること」について思いを交流する、筆者の主張をまとめる。		・プリントやワークシートを活用する。 ・語句や語彙の構造や特色、類義語・対義語など辞書を使用し理解していく。 ・ICT機器を効果的に活用していく。
5	・ことばの使い分け ・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ	7	言葉を正しく使い分ける理由を考える、敬語を使い分ける。		
6	・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか ・ナンバーワンか、オンリーワンか	8	文章校正に着目し、問題提起と答えの関係を押さえる。筆者の問題提起について考え、自分の意見を発表する。		
7	・生きることと食べることの意味 ・絵や写真を説明しよう	6	文章の効果的な組み立て方を理解する。		
9	・オカピの胃袋はいくつか	8	筆者の主張と根拠を意識して読む。対比、具体と抽象の関係を捉える。		
10	・商品と贈り物の違い ・水の東西	8	比喩、例示、言い換えの意味を理解する。		
11	・伝えあいのレッスン	8	対話の力やコミュニケーションを高めることに興味をもつ。		
12	・どこもかしこもプラスチック	4	読み取った情報を文章にまとめる。		
1	・プレゼンテーションをしよう	5	目的に応じた構成について考える。		
2	・何のために「働く」のか	7	文章を読み、どのように生きていきたいかをまとめる。		
3	・自分の考えをつくるために	4	自分の考えをまとめ、発表する。		
通年					

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	言語文化		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) 高校生としてふさわしい「読み」「書き」の力を身に付ける。 (2) 様々な作品に触れ、思考力、判断力、批判力を養う。 (3) 適切に思考、判断、表現する力を育成し、他の学習に生かそうとする姿勢を身に付ける。				
担当教職員 *学校介護職員	巻島 圭子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	第一学習社 新編言語文化				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	・島の少年 一船 (小説)	5	<ul style="list-style-type: none"> 描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を捉える。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 		<ul style="list-style-type: none"> 場面など、まとまりごとに情報を整理する。 物語の文章の書き方の特徴を踏まえて、内容を捉える。 文化や時代背景を踏まえて、内容を捉える。 表現の特徴を意識して、文章や詩の内容を捉える。 中学部での既習事項を再確認しながら学習を進める。
5	・よろこびの歌 (小説)	7	<ul style="list-style-type: none"> 「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 		
6	・羅生門 (小説)	8	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 		
7	・詩	6	<ul style="list-style-type: none"> 詩の表現技法や表記の効果を理解する。 詩の内容を読み取り、主題や題名の意味を考える。 		
9	・漢文、故事成語、漢詩	8	<ul style="list-style-type: none"> 返り点の種類と使い方など、漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 		
10	・古文入門 ・児のそら寝 ・なよ竹のかぐや姫	8	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 説話、作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文の世界への親しみを深める。 		
11	・枕草子、徒然草、方丈記	8	<ul style="list-style-type: none"> 作者の関心事を自由につづった文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 		
12	・和歌	4	<ul style="list-style-type: none"> 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解する。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 		
1	・短歌と俳句	5	<ul style="list-style-type: none"> 詠まれている情景や心情を読み取る。 近現代を代表する歌人・俳人の作品を味わう。 		
2	・ほねとたね (小説)	7	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の人物像を会話や動作から丁寧に把握し、人との関係が主人公にもたらした心情の変化を読み取る。 		
3	・よだかの星 (小説)	4	<ul style="list-style-type: none"> 作品に含まれる寓意を理解し、主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	公共		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 社会の一員として必要な法、政治及び経済などの社会生活に関わる基礎を理解し、深める。 (2) 複雑で変化の激しい社会の中で、主体的に判断しながら、課題を解決していく力を養う。 (3) グローバル社会における平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	公共 (東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	○「公共」のとびら 青年期 社会的な関係のなかで生きる 人間 人間としての在り方生き方	12	現代社会における青年期		・ICT機器を活用し、視覚的に分かりやすく提示する。 ・身近な事象や時事問題などの関連事項を取り上げ、具体的なイメージをもてるようにするとともに、社会問題への理解・興味・関心を高められるようにする。 ・互いの意見や資料などから、多角的・多面的に考察し、主体的に取り組めるように課題を設定する。 ・ワークシートやICT機器を活用し、学習内容を整理しやすいようにする。 ・調べ学習などの活動を通し、情報リテラシーを高めるとともに、主体的な活動や自分なりの表現を引き出せるようにする。
5			公共的な空間		
6	○民主政治と私たち 民主主義と政治参加 法の働きと私たち	15	民主政治の仕組みと政治参加		
7			法や規範の意義と仕組み		
9			生活の中の司法と司法参加		
10	○経済社会で生きる私たち 現代の経済と市場 財政の役割と持続可能な社会 保険制度	12	現代の経済と市場		
11			金融と財政		
12	○私たちの職業生活	7	働くことの意義と職業選択・労働者の権利		
1	○国際社会のなかで生きる私たち 国際社会のルールと仕組み 仕組みと課題 グローバル化する国際経済	12	国際社会のルールと仕組み<ワークシート>		
2			グローバル化する国際経済と平和への課題<ワークシート>		
3	持続可能な社会	12	持続可能な社会づくりに参画するために<調べ学習・発表>		
通年	時事問題		ニュースなどの時事問題について知る・調べる・発表する。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学Ⅰ		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	<p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	新編 数学Ⅰ (数研出版)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	第1章 数と式 式の計算	8	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解		<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を振り返り、生徒の理解度を確認しながら学習を進める。 具体的な事象や身近な題材を取り扱うことで、イメージしやすくする。 定理や公式の暗記に陥らず、成り立ちやその活用に重点を置く。 ICT機器を用いることで、視覚的に気付きやすくするとともに、ノートテイクなどの負担を軽減し、思考の時間を十分に取る。
5	実数	10	実数 根号を含む計算		
6	1次不等式	11	不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式		
7	第2章 集合と命題	8	集合 命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明		
9	第3章 2次関数 2次関数のグラフ	10	関数とグラフ 2次関数のグラフ		
10	2次関数の値の変化	14	2次関数の最大・最小 2次関数の決定		
11	2次方程式と2次不等式	11	2次方程式 2時間風のグラフとx軸の位置関係 2次不等式		
12	第4章 図形と計量 三角比	10	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張		
1	三角比への応用	7	正弦定理・余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 空間図形への応用		
2	第5章 データの分析	9	データの整理、データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差		
3		7	2つの変量の間関係 仮説検定の考え方		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学A		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。 (2) 事象を数学的に考察し表現する能力を高める。 (3) 創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識する。				
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新編 数学A (数研出版)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	場合の数と確率	5	集合 集合の要素の個数		場合の数の基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 中学校で扱った確率を復習しながら、高校の確率へと発展させていく。確率の問題には、いろいろと複雑な問題が考えられるが、ここではくじ引きなどの身近な例をもとにして、確率の意味とその考え方の有効性を理解させる。
5		7	和の法則・積の法則 順列		
6		7	組み合わせ 確認問題 事象と確率		
7		7	確率の計算		
9		7	独立な試行と確率 条件付き確率		
10		7	確認問題 課題学習		
11	図形の性質	6	図形の基本 角の2等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心		平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 中学校で学んだ内容をしっかり復習し、その内容をもとに、順を追って展開することにより、証明の意義や方法について理解させる。
12		6	円周角の定理 円に内接する四角形		
1		6	円の接線 方べきの定理 2つの円		
2		6	作図 空間の直線 正多面体		
3		6	問題 課題学習		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	科学と人間生活	準ずる教育課程	高⑤
教科等名	科学と人間生活		学習グループ名				
目標・ねらい	(1) 自然の事象・現象についての理解を深める。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	科学と人間生活 (東京書籍)						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫	
4	微生物とその利用	7	○さまざまな微生物(ワークシート、実験、観察) ◆微生物のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解し、微生物の利用について表現している。			・今年度から新しく導入したアプリケーションを用いて、各生徒のICT機器に画面配信を行い、板書を手元で見ることができるようにする。 ・ICT機器を使い、現象を可視化し理解しやすくする。 ・実験や観察を多く取り入れることで、興味・関心を高め、体験しながら学習に取り組めるようにする。 ・身近な現象を中心に展開し、学習意欲を高める。	
5		7	○私たちの暮らしへの微生物の利用(ワークシート、実験、観察) ◆微生物とその利用について、問題点を見だし、人間生活と関連付けて科学的に探究し、考察している。				
6		2	○章末(ワークシート) ◆生態系での物質循環における微生物のはたらき、発酵食品や医薬品への微生物の利用について、人間生活と関連付けて理解している。				
7	衣料と食品	7	○衣料の科学(ワークシート、実験、観察) ◆身近な衣料材料の性質や用途についての基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解する。				
9		8	○食品の科学(ワークシート、実験、観察) ◆身近な食品中の主な成分の性質についての基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解する。				
10		2	○章末(ワークシート) ◆繊維の種類や性質、用途および食品中の主な成分の性質について、人間生活と関連付けて理解する。				
11	熱の性質とその利用	7	○熱とは何か(ワークシート、実験、観察) ◆熱の性質について基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解する。				
12		7	○エネルギーの利用と私たちの暮らし(ワークシート、実験、観察) ◆エネルギーの変換と保存および有効利用について基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解し、科学技術の活用について多面的に考えようとしている。				
1	自然景観と自然災害	7	○身近な自然景観の成り立ち(ワークシート、実験、観察) ◆身近な自然景観の成り立ちについて基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解する。				
2		9	○自然災害と防災(ワークシート、実験、観察) ◆自然災害について基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解し、生命を守るためにできることを表現している。				
3	課題研究	7	○課題研究(ワークシート、実験、観察) ◆これからの科学と人間生活との関わり方に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。				
通年		70					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	保健		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 健康や安全に対する理解を広げ、深める。 (2) 生涯を通じて自らの健康を適切に考えたり判断したりすることができる。 (3) 自ら健康に関する課題を発見し主体的に解決を図ろうとすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	梅沢蓉子 米川慧				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	新高等保健体育(大修館書店)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の留意点及び工夫	
4	思春期と健康	3	思春期における心の変化と健康課題、身体の変化と性機能の成熟についての学習	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや資料を用いる。 ・それぞれの考えを尊重する雰囲気を作る。 ・資料を用いながら学習を進めていく。 ・調べ学習を交えながら進めていく。 ・自身の将来の生活を考えたり身近な問題として捉えられるよう生徒の生活に即した具体例を用いて説明する。 ・インターネットや新聞などを活用して学習を進める。 ・自身の生活を振り返りながら学習を進める。 ・考えをまとめ発表する場面を設定しながら進めていく。 	
5	性意識の変化と性行動の選択	3	性意識の変化と異性の尊重や性行動の選択についての学習		
6	結婚生活と健康 妊娠・出産と健康	3	夫婦関係や親子関係と健康について、受精・妊娠・出産や母子の健康についての学習		
7	家族計画	3	家族計画の意義や避妊方法の選択と人工妊娠中絶についての学習		
9	加齢と健康 高齢化社会に対応した取り組み	3	加齢による心身の変化や高齢者を取り巻く状況についての学習		
10	働くことと健康 労働災害の防止 働く人の健康づくり	4	働くことの意義と働き方の変化、日本における労働災害の推移についての学習		
11	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染 環境衛生	4	大気汚染による健康への影響、環境汚染の防止とその対策についての学習		
12	食品の安全 健康制度の活用	3	食品の安全と課題について、医療制度の役割と適切な活用の学習		
1	医薬品の制度と活用	3	医薬品の使い方についての学習		
2	様々な健康活動や対策	3	地球規模の健康課題を解決する取り組みや組織の活動についての学習		
3	誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	3	多様な人や組織が参加して進める環境づくりやまとめ		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	保健体育(体育)		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 個々の実態に応じた課題やルール設定を行うとともに、話し合いの場面を設定する。 (3) 目的に向けた主体的な過程を称賛し、身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める				
担当教職員 *学校介護職員	梅沢蓉子 米川慧				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新高等保健体育(大修館書店)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	体づくり運動	6	体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。 ・必要に応じて音楽を流し、生徒の意欲を高める。 ・チームは毎時間変えて、多くの人と交流する機会を設ける。 ・体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 ・自身の記録の変化が分かるようにする。 ・泳法の学習では、それぞれの泳法の特徴を学習し理解してから実技を行うようにする。 安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。 ・仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。 ・チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
5 6	陸上競技 体育祭種目練習	12	陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。		
7 9	水泳	10	泳法の学習やリラクゼーションを行う。		
10	球技「ボッチャ」	8	投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。		
11	ダンス	8	テーマをに合わせた楽曲を選択し、振り付けを覚え、発表する。		
12 1	球技「テニス」・「卓球」	12	打撃練習や試合を通して、ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を学習する。		
2 3	球技「ハンドサッカー」	14	ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	美術1 (光村図書)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	平面制作	10	ポスター、絵画の鑑賞 アイデアスケッチ 絵の具、パステル、色鉛筆などを使ったモダンアート制作 ポスター制作		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。 ・タブレット端末を用いて技法や作品などの調べ学習をする時間を設ける。 ・制作時間を調整し、試行錯誤しながら発想を広げられるようにする。
5					
6	立体造形	10	彫刻の特徴と作品の鑑賞 アイデアスケッチ 粘土などを使った彫刻制作		
7					
9	工芸	20	工芸作品の鑑賞 アイデアスケッチ 革や木などを使った工芸制作		
10					
11					
12	デザイン	18	デザインについて考える アイデアスケッチ タブレット端末を使ったデザイン制作		
1					
2	自由制作	12	自己表現について考える アイデアスケッチ 制作		
3					
通年	鑑賞		映像作品、参考作品の鑑賞		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	英語コミュニケーションI		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 日常的・社会的な話題について、英語で理解したり表現したりすることができる。 (2) 演習等を繰り返し行い表現を身に付け、自主的に表現することができる。 (3) 視覚的資料を活用し、生徒が興味・関心をもって取り組むことができるようにする。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 奈穂美				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	All Aboard! English Communication I (東書)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	Warm-Up1, 2, 3 Pre-Lesson1, 2	8	教室英語、自己紹介 色々な動詞や疑問詞を理解・使用する。		・できるだけ英語でインタラクティブを行ったり、写真や実物を提示したりすることで、英語のまま内容を理解できるようにする。 ・デジタル教科書を活用し、写真や英文をモニターに大きく提示することで、学習中の箇所を明確にする。
5	Lesson 1, 2	10	世界の朝食・オーストラリアの珍しい動物について知る。 過去形・進行形を理解・使用する。		
6	Lesson 3	13	職業の意義について/道案内 助動詞の用法を学ぶ。/道案内や人を誘うときの表現を学ぶ。		
7	Lesson 4	8	ポリビアの絶景について知る。 to 不定詞を理解・使用する。		
9	Lesson 5	10	将来の夢について話す。 動名詞を理解・使用する。		
10	Lesson 6	10	浮世絵・現代の漫画について考える 受動態の文を理解・使用する。		
11	Lesson 7	10	アンネ・フランクの生涯を知る。 比較表現を理解・使用する		
12	Lesson 8	14	科学技術と生活について考える。 現在完了形の用法を理解・使用する。		
1					
2	Lesson 9	11	プラスチック汚染について考える。 後置修飾の分詞を理解・使用する。		
3	Lesson 10	6	戦中・戦後の歴史について学ぶ。 関係代名詞を理解する。		
通年	ALTとの英会話	5	ニュースや季節についての話題 異文化に関心を持ち、英語運用能力を高める。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	情報 I		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに, 情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに, 情報社会に主体的に参画する態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	高澤 昇太郎				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新編情報 I (東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	情報で問題を解決する	5	様々なメディアの特性を理解する。 メディアによってメリット、デメリットがあることを理解する。		・現在や卒業後の生活を考え、自立に活用できる情報や技術を取り上げる。 ・一人一台端末や動画教材を活用し、視覚的、体験的学習を取り入れる。 ・プリントを作成し、教科書以外の知識も得ることができるようにする。
5		7	情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 個人の責任の下に情報モラルがあることを理解する。		
6	情報を伝える	8	メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 コミュニケーションの特徴を理解する。		
7		6	情報デザインについてプロセスを理解する。 情報デザインのプロセスと活用方法を理解する。		
9	コンピュータを活用する	8	プレゼンテーションを作成する。 伝えたいことを効果的に相手に伝える。		
10		8	コンピュータの基本構成について理解する。 コンピュータの動作の仕組みを理解する。		
11	データを活用する	8	発展的なプログラムを組み、制御構造を理解する。 プログラムの基本構造を理解する。		
12		4	情報通信ネットワークについて理解する。 情報通信ネットワークの要素を理解する。		
1		5	データベースの役割を理解する。 データベースの使われ方を理解する。		
2	活動して提案する	7	データ分析の流れを理解する。 データの解釈方法を理解する。		
3		4	適切なデータの解釈方法を理解する。 データの解釈方法を理解する。		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	産業社会と人間		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) 共生社会を構築する人材としての、社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 (2) 我が国の産業の発展の経緯と、それがもたらした社会の変化について考察する。 (3) 将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた計画を自ら作成する。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	自主教材				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	社会生活の基礎	2	社会生活におけるルールとマナー、コミュニケーションスキル 社会と自己の関り方について考え、円滑な人間関係を築くことができる。		必要な情報を新聞や書籍、ネットで読み取り、意見を交換し合う。
5		3			
6	社会の中の仕事や活動	4	様々な仕事や活動を新聞やインターネット情報で読み、自分にできることや、やりたい活動について考える。 社会と自己の関りについて考え、様々な生き方・働き方を知る。		
7	自律と自立	2	社会生活を送る上で必要な知識や技能を学ぶとともに、障害者を取り巻く現状と課題について考える。 自らの社会的自立や共生社会の実現についての知識をもつ。		
9	消費者生活	4	新聞記事やインターネット情報をもとに、消費者を取り巻く諸課題について考える。 消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結び付けることができる実践的な能力を育む。		
10	「大きな進路」と「小さな進路」	4	自らの将来設計を考える中で、自己実現「大きな進路」とその手段「小さな進路」について考える。 自分の将来像や生きる意義などの考えをまとめる。		
11		4			
12	働くこと、生活すること	3	生活の基盤となる「働く」ことの意義を考える。 家族や先輩など身近な人の働き方や生き方を知り、自分の社会参加について考えをまとめる。		
1	社会人として	3	働くために大切な健康管理や生活について具体的に考える。 働くために必要なスキルを身に付けていく。		
2	主権者教育	4	選挙権獲得と選挙権行使について考える。 主権者とは何か、選挙とは何かを知る。		
3	進路について考える	2	自分の長所を生かせたり、興味のもてる仕事について考える。 卒業後のイメージをもつ		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な探究の時間		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文 米川 慧 高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	35		単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部を知ろう	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	学期のまとめ	2	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習 移動教室事前事後学習	11	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○移動教室の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
10					
11					
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て2学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
2	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		
3	進路について	3	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 郭雅文 米川慧 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。		一年間の流れを知り、見通しをもてるようにする。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援グッズを作成し、練習の段階から本番の雰囲気を味わえるようにする。
7	墨東祭に向けて	13	○係ごとに事前学習を行う。 ○内容に関する話し合い、準備、練習など。 ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。		過去の動画等を見て、見通しをもてるようにする。 自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
9					
10					
11					
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		写真や映像などを活用して、具体的に振り返ることができるようにする。
通年		35			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 運動・動作の維持と改善や、関節の拘縮や変形を予防、筋力の維持・強化をする方法を知る。 (2) 障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する。 (3) 生徒が障害の状態や発達の段階に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文 高橋 奈穂美 渡邊 沙綾 齋藤 篤彦 佐伯 かおり				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	自立活動	70	セルフストレッチ・筋力トレーニング 座位、膝立ち、立位の取り組み バランスボールやトランポリンを使った活動 歩行訓練、階段昇降 手指の操作性を高める活動 車いすの操作技術の向上、並びに安全に運行するための知識の取得		・生徒自身が主体的に身体の取り組むために、体調などを確認する中で、生徒と教員間で取り組むべきメニューを相談して決定していく。 ・車いすの取り組みでは、校内並びに学校周辺の歩道などを活用することで、様々な環境下での走行を体験する。
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
通年					